

## BOOST ADAPTER

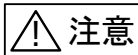
### 取扱説明書

コード No. : 19244

適合車種 : TOYOTA 86 (ZN6)  
SUBARU BRZ (ZC6)



- 本製品を取り付ける前に必ずこの取扱説明書をよく読み、作業を行ってください。
- 本製品の取り付けに関しては、必ず専門の業者にて行うようお願いいたします。
- 本製品を誤った使い方・取り付け方、または製品の加工や改造などは一切行わないでください。誤った使い方・取り付け方、製品の加工・改造などによる不具合や破損・損害に関して、弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。
- 本製品はインマニ圧を取り出すためのアダプターです。それ以外の用途には使用しないでください。



- 作業はエンジンが十分に冷えている状態で行ってください。
- センサーを取り外した穴やホースからエンジン内部に異物が入らないように十分注意してください。エンジン内に異物が混入すると、エンジンの破損の原因となります。
- センサー及び本製品に使用されている Oリングが傷つかないように、十分に注意して作業を行ってください。Oリングに傷がつくとエア漏れ、エア吸いの原因となります。
- センサーのコネクタ抜き差しは、ハーネス部分を持たず、必ずコネクタ部を持って行ってください。また、ハーネスがコネクタ根元で無理に曲がらないように注意してください。センサーハーネスの断線の原因となります。

お願い

- 本製品をご使用になられている期間は、この取扱説明書を大切に保管し、売却、譲渡の際には本製品に添付してお渡しください。


#### 製品についてのご相談及びお問い合わせについて

製品に関するお問い合わせ、連絡は電話にて下記宛にお願い致します。

□連絡先 株式会社ブリッツ サポートセンター  
□TEL 0422-60-2277

<http://www.blitz.co.jp/>

## 【 構成部品 】

|   |   |  |
|---|---|--|
|  |  |  |
| アダプター本体 (1 個)   | Oリング (1 個・本体に装着済)   | ホースジョイント (1 個)   |
|  |  |  |
| ナイロンチューブ 500mm (1 本)  | ゴムホース 500mm (1 本)   | 固定用タッピングねじ (1 本)   |
|  |  |  |
| 固定用 M5 × 40 ネジ (1 本)  | タイラップ 100mm (1 本)   | 取扱説明書 (本書)   |

## 【 取り付け方法 】



- ① 車両のエンジンを停止させ、バッテリーのマイナス端子を取り外します。
- ② アダプター本体にホースジョイントを取付けます。
  - ※ Oリングはすでにアダプター本体に装着しております。Oリングが溝部にはまっているか、目立った傷がないかを確認してください。
  - ※ ホースジョイントには予めシールテープが巻かれていますが、市販のシールテープやシール材を追加することをお勧めします。
- ③ 車両のエンジンカバーを外し、圧力センサーのコネクタを抜き、センサーを取り外します。
  - ※ 圧力センサーのOリングを傷つけないように注意してください。
  - ※ 圧力センサーは精密部品です。取り扱いには注意してください。
  - ※ 圧力センサーを取り外した穴からインタークマニホールド内に異物が混入しないよう十分注意してください。センサー取り外し後、テープなどで穴を塞いでおくことをお勧めします。
  - ※ マイナーチェンジ後の赤いアルミ製マニホールドの車両にはエンジンカバーはありません。



④ アダプター本体に圧力センサーを挿し込み、製品付属のネジでエンジンに固定します。

マイナーチェンジ後の赤いアルミ製マニホールド車は M5 × 40 のミリネジで、樹脂製のマニホールド車はタッピングネジで取り付けてください。

※ タッピングネジ締め付けトルク：4N・m (41kgf・cm)

※ M5 × 40 ネジ締め付けトルク：5.4N・m (55kgf・cm)

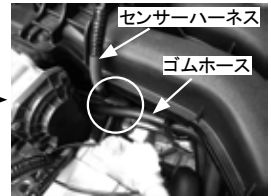
※ 樹脂製マニホールド車はタッピングネジを何度も抜き差ししたり、強く絞め付け過ぎると樹脂側のネジ山が潰れ、しっかりと固定できなくなる可能性があります。また、ネジが斜めに刺さった状態で締めこむと樹脂側のネジ山が潰れてしまいますので、十分に注意してください。

※ アダプター本体、圧力センサーの Oリングを傷つけないように十分注意してください。挿し込みが固い場合は無理に押し込まず、Oリングのゴムに悪影響を及ぼさないグリスを指で塗布してください。

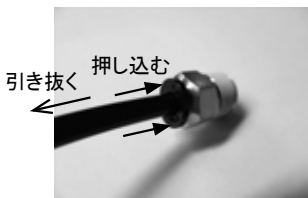


⑤ ホースジョイントにナイロンチューブを挿し込み、圧力センサーのコネクターを接続します。

※ 圧力センサーのハーネスがきつく、配線が引っ張り気味になる場合は、ゴムホースの下側を通っている圧力センサーハーネスをゴムホースの上側を通るようにすることで、ハーネスに余裕ができます。



※ ホースジョイントはナイロンチューブを挿し込むだけでロックされます。ホースジョイントからナイロンチューブを取り外す際は、ホースジョイント先端の樹脂部分を押し込んだ状態でナイロンチューブを引き抜いてください。無理に引っ張るとジョイント及びチューブの破損の原因となります。



⑥ ナイロンチューブの先にゴムホースを挿し込み、タイラップで固定します。

※ ナイロンチューブとゴムホースの長さはお好みで調節してください。

※ ゴムホースにナイロンチューブを 10 ～ 20mm 程度挿し込み、ゴムホース部分をタイラップでしっかりと固定してください。



⑦ ゴムホースの先に別売のバキューム / ブーストセンサーを取り付けます。

※ センサー等の取り付けに関しては、別途取り付けされる製品の取扱説明書を参照してください。

※ ゴムホースの先にはインマニ圧を取り出す目的以外のものは接続しないでください。本製品はインマニ圧取出しのためのアダプターとなっており、それ以外の目的で使用しないでください。

⑧ バッテリーのマイナス端子を接続します。

⑨ エンジンを始動し、各部よりエア漏れ、エア吸いがないか、ゴムホースの先に接続したメーター等の製品が正常に動作しているかを確認します。

※ ナイロンチューブやゴムホースの先に何も接続しない状態での、エンジンの始動は絶対に行わないでください。エンジン不具合の原因となり、最悪の場合エンジンが破損する可能性があります。

### 【エンジンカバー の取り付けについて】

・ 本製品を取付けると純正のエンジンカバーが干渉し取り付けられなくなります。純正のエンジンカバーを取り外した状態にするか、一部をカットする加工を行うことで取り付けられます。

・ 純正エンジンカバーを取り付ける場合は、左の写真を参考に純正エンジンカバーをカットする加工を行ってください。

※ 純正カバーの出っ張りの凹凸ラインに沿ってカットすることできれいに加工が行えます。

※ 純正ラインでカットしても圧力センサーがカバーに接触する場合は、当たっている部分をさらに削る加工を行ってください。カバーとセンサーが接触した状態で無理に取り付けると、圧力センサーおよびエンジンカバーの破損の原因となります。

